

遊びは子どもが育つ大切な栄養

楽しい!

ワクワク!

子どもがあそんでいると、「あそんでばかりいる」「勉強もしてほしい」といった否定的な気持ちになったりしませんか？

発達障害領域の作業療法を専門とし、東京都立大学で教鞭もとられている講師に、科学的な見地も踏まえて、「あそび」がどのように子どもの感覚の発達に、いかに大切な効果をもたらしているかを学び、健やかに子どもが育つために保護者が子どもとどう関わっていけばよいかを考える講座です!



R4.4月 Open の新しい
ふれあい館です!

日時

8月7日(日)

10時~11時45分 (受付9時45分~)

場所

東尾久本町通りふれあい館 3階 洋室2
荒川区東尾久2丁目37-14

館内



講師

伊藤 祐子 氏

東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科 教授

東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 作業療法科学域 教授

対象・
定員

区内在住、在勤の未就学児の保護者 20名

託児

定員 8名
(1歳以上)

申込み
締切

7月11日(月)9時より窓口、電話、メールにて受付

【申込必要事項】

氏名・ふりがな・住所・電話番号・メールアドレス・講師への質問、
相談内容・お子さまの年齢、託時希望有無(希望有の場合、年齢と人数)

7月22日(金)17時締切

(締切後、応募者多数の場合は抽選を行い、7月25日(月)頃に結果を送信します)

託児の定員がいっぱいになった場合、託児無しでの当選となる場合があります。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンラインでの開催
などへの変更や中止の可能性があります。

託児 再開
しました

講座受講の応募は
こちらからどうぞ!



問合せ
申込先

荒川区地域文化スポーツ部生涯学習課生涯学習事業係

TEL 3802-3111(内線)3354・3355

(申込メールアドレス) shakyo-shakyo@city.arakawa.tokyo.jp

こちらより受付確認メールを送信します。土日・夜間など返信までに時間を要する時があります。

講師プロフィール

講師

伊藤 祐子氏

東京都立大学
健康福祉学部
作業療法学科 教授

東京都立大学大学院
人間健康科学研究科
作業療法科学域 教授

発達領域の作業療法を専門とし、近年は発達障害がある子どもやそのご家族、先生方への支援として、保育園や幼稚園、小中学校、特別支援学校での作業療法支援に関わる機会が多い。

学歴：東京都立医療技術短期大学作業療法学科卒業、日本大学大学院理工学研究科医療福祉工学専攻修士（工学）、芝浦工業大学大学院理工学研究科機能制御システム専攻博士（学術）。
主な役職など：日本作業療法士協会代議員（認定作業療法士）、日本発達系作業療法学会理事、東京都作業療法士会子ども委員会担当理事、日本感覚統合学会インストラクター、WHO PIR Development Group for Autism Spectrum Disorder メンバーなど。



◆ 会場

東尾久本町通りふれあい館

3階 洋室2 荒川区東尾久2丁目37-14

都電荒川線「東尾久3丁目」停留場徒歩4分、舎人線「赤土小学校前」下車徒歩5分、舎人線「熊野前駅」下車徒歩6分、都バス里48「尾久本町通り」停留所徒歩5分、

＜新型コロナウイルス感染予防対策＞

- 講座の応募にあたって、以下の新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いいたします。
 - ・受講者は自宅で検温を行ってから来館されるようお願いいたします。
 - ・発熱や咳等の症状があるなど体調不良の場合は参加の自粛をお願いいたします。
 - ・施設内ではマスクの着用、手指の消毒にご協力をお願いいたします。
 - ・感染者発生時の迅速な対応のため、申込時にうかがったお名前、連絡先の個人情報を、会場施設及び保健所等の関係機関に提供する場合があります。予めご了承ください。



**家庭教育学級では現在以下の動画が 荒川区公式チャンネル(YouTube)で公開中です！
ぜひご覧ください！！**

【R03 家庭教育学級乳幼児第5回】

親子のコミュニケーションを深めよう！子どもと楽しむ絵本と歌あそびの魅力



絵本と歌あそび



【R03 家庭教育学級小中学生】

親子のコミュニケーション 思春期編 - 自分を知って子どもと向き合う



小中学生
親子コミュニケーション



家事シェア

【R03 家庭教育学級乳幼児第6回】

家事・育児は「分担」から「シェア」へ！笑顔になれる家族関係をつくるヒント

【R03 地域子育て教室】

あらかわママ企画講座 ～子どもに向けた応急手当～



ママ企画講座 HP



人権講座 HP

【R03 みんなで人権を考える講座】

地域の子どもたちを笑顔に 「子どもの権利(人権)」について考えよう